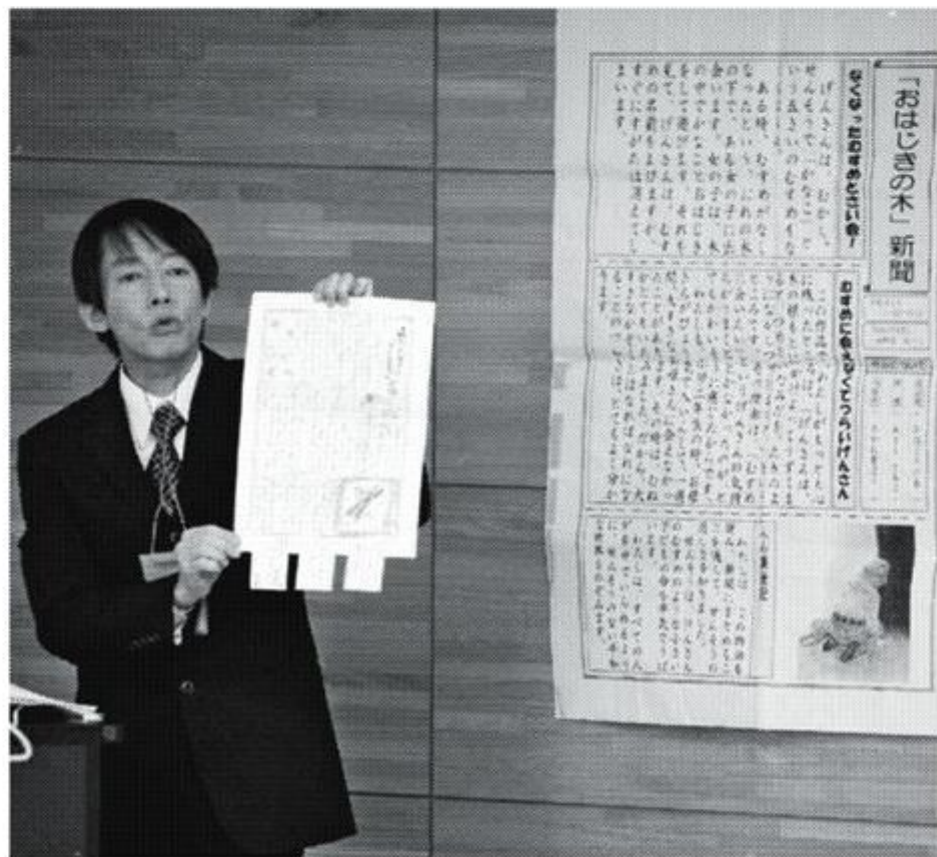


英語授業でも実践

NIE学会 教諭ら発表



新聞を学校の授業で活用するNIE（教育に新聞を）の意義や研究成果について話し合う日本NIE学



日本NIE学会で、研究内容を発表する教育関係者 ー鹿児島市（藤浦淳撮影）

会が25日、鹿児島大学（鹿児島市）で前日に続き開かれた。教育関係者が実例を基にした自由研究発表を行い、2日間の日程を終えた。分科会では、国語や社会だけでなく、数学や英語などの授業で行われているNIEについても紹介された。

高松市立高松第一中学校
NIEは教員養成の現場などでも活用されており、東京未来大の佐藤久恵・非常勤講師は、同大の教員・保育士養成課程におけるNIEの実践を紹介。同課程を履修した学生は就職後、外国籍の子供たちと接することが多いことから、「NIEで外国語の新聞を活用してほしい」と語った。

で数学を教える前野勝彦教諭は「小中一貫校における新聞投稿を中心としたNIEの実践」と題して発表。前野教諭は生徒たちへ新聞社への川柳の投句や意見投稿を呼びかけることで、「国語科の教諭ではないことが、生徒たちの新聞投稿へのハードルを下けているのではないか」と分析。そのうえで「生徒たちは新聞に自分の作品が掲載されると、『次も投稿したい』というようになる」と話していた。